

III 業績

1 兵庫県立農林水産技術総合センター研究報告（WEB 版）に掲載した事項

なし。

2 外部に発表した事項

(1) 学会誌等

発表年月	内 容	雑 誌 名	提 供 者 名	所 属
R 1. 10	イカナゴの新子（しんこ）は本当に痩せてきているのかー大阪湾・播磨灘における漁獲対象期のイカナゴ0歳魚の肥満度の長期変化ー	水産海洋研究 83(4), 303-304	反田 實	
R 1. 10	播磨灘における夏眠期のイカナゴ肥満度	水産海洋研究 83(4), 300-301	西川哲也	水産環境部
R 2. 1	Interannual decrease in condition factor of the western sand lance <i>Ammodytes japonicus</i> in Japan in the last decade: Evidence for food-limited decline of the catch	Fisheries Oceanography 29(1), 52-55	西川哲也ら	水産環境部ほか
R 1. 10	大阪湾・播磨灘におけるイカナゴの資源動向ー資源の持続的利用を図るためにはー	水産海洋研究 83(4), 297-299	魚住香織	水産環境部

(2) 学会等講演会

発表年月	内 容	学会名・提供先	提 供 者 名	所 属
R 1. 9	明石海峡部における冬季植物プランクトン群集の動態ー3 か年の比較	2019 年日本ベントス学会・日本プランクトン学会合同大会	西川哲也ら	水産環境部ほか
R 1. 10	播磨灘における海洋環境の変動と植物プランクトンの応答	令和元年度日本水産学会中国・四国支部例会・瀬戸内海水産フォーラム合同シンポジウム	西川哲也	水産環境部
R 2. 1	海域環境と植物プランクトン群集、特に有害藻の長期変動	第 36 回沿岸環境関連学会連絡協議会ジョイントシンポジウム	西川哲也	水産環境部
R 2. 3	イカナゴ肥満度に及ぼすホルマリン固定の影響	令和 2 年度日本水産学会春季大会	西川哲也	水産環境部
R 2. 3	播磨灘におけるイカナゴ孕卵数の減少	令和 2 年度日本水産学会春季大会	魚住香織ら	水産環境部ほか

(3) 研究会・資料集等

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 2. 3	播磨灘北西部における陸域からの栄養塩供給が二枚貝養殖漁場の生産力に及ぼす影響の解明	平成 31 年度漁場環境改善推進事業のうち栄養塩、赤潮・貧酸素水塊に対する被害軽減技術等の開発(1)栄養塩の水産資源に及ぼす影響の調査報告書	原田和弘ら	水産環境部ほか
R 1. 9	兵庫県内海における 2018 年および 2019 年の漁況	第 50 回瀬戸内海東部カタクチイワシ等漁況予報会議報告	西川哲也ら	水産環境部

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 1. 11	イカナゴを指標種とした瀬戸内海の貧栄養化と再生に関する研究	令和元年度瀬戸内海ブロック水産業関係研究開発推進会議生産環境部会・資源生産部会合同部会主催シンポジウム講演要旨	西川哲也	水産環境部
R 2. 3	浅海定線観測結果	瀬戸内海ブロック令和元年度浅海定線観測等担当者会議議事録（抄）	高倉良たら	水産環境部
R 1. 11	兵庫県におけるノリ養殖等の概況および試験研究項目	令和元年度瀬戸内海ブロック水産業関係研究開発推進会議・藻類情報交換会	谷田圭亮	水産増殖部
R 2. 3	日本海西部における兵庫県海域のソデイカ来遊水準	令和元年度イカ類資源評価協議会報告	鈴木雅巳	但馬水技
R 2. 2	兵庫県水産物の流通技術（日本海産魚類の脂肪含量特性解明）	令和元年度優良研究・指導業績表彰受賞者業績概要集	川村芳浩	北部農業・加工流通部
R 2. 3	有害プランクトンの出現動態監視および予察技術開発 日本海西部海域	平成 31 年度漁場環境改善推進事業「赤潮被害防止対策技術の開発」報告書	鈴木雅巳ら	但馬水技ほか
R 2. 3	インピーダンスを利用した兵庫県日本海産魚類の脂肪含量調査	水産物の利用に関する共同研究 第 60 集	川村芳浩	北部農業・加工流通部
R 2. 3	ズワイガニの標本船調査から得られた漁期別投棄尾数	令和元年度 EEZ 内資源・漁獲管理体制強化事業（資源管理計画等の高度化に関する調査事業）報告書	田村一樹	但馬水技

(4) 研究会（大会・研究会）等講演

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 1. 5	兵庫県のイカナゴ漁業と課題	福島県相馬双葉漁業協同組合	反田 實	
R 1. 7	兵庫県の窒素、リンの下限値設定とその背景について	長崎県環境部、長崎県農林部	反田 實	
R 1. 7	豊かな海づくりに向けた取り組みについて	滋賀県水産課	反田 實	
R 1. 8	豊かな海づくりに向けた取り組みについて	大阪府議会公明党	反田 實	
R 1. 9	豊かな海づくりに向けた取り組みについて	滋賀県農林水産試験研究アドバイザー事業勉強会	反田 實	
R 1. 9	播磨灘の貧栄養の改善に向けた取り組み	加古川市環境保全研究会	反田 實	
R 1. 10	栄養塩の減少が及ぼす水産生物の影響とノリ漁場への栄養塩管理運転	豊かな海づくりに係る研修会	反田 實	
R 1. 10	栄養塩の減少が及ぼす水産生物の影響とノリ養殖場への栄養塩管理運転の効果	豊かな瀬戸内海の再生に係る連絡協議会	反田 實	
R 1. 11	栄養塩環境と漁業	大輪田塾	反田 實	
R 1. 12	・イカナゴの減少要因 1 しんこの肥満度の変化から ・イカナゴ減少のシナリオ	令和元年度第 1 回豊かな瀬戸内海再生調査事業検討会	反田 實	

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 2. 1	近年の瀬戸内海の漁場環境と水産資源	日本技術士会環境研究会特別講演会	反田 實	
R 2. 2	近年の瀬戸内海の漁場環境と水産資源	滋賀県立大学講義	反田 實	
R 2. 3	豊かな瀬戸内海再生調査事業における成果報告について	令和元年度第2回豊かな瀬戸内海再生調査事業検討会	反田 實	
R 1. 7	兵庫県のノリ漁場における窒素の動態解明と栄養塩の有効利用技術の開発	令和元年度愛知県藻類貝類養殖技術修練会	原田和弘	水産環境部
R 2. 2	瀬戸内海の栄養塩環境が漁業生産に与える影響	加古川市環境保全協議会研修会	原田和弘	水産環境部
R 1. 5	最近の赤潮発生状況について	赤潮対策連絡会議幹事会	宮原一隆	水産環境部
R 1. 6	兵庫県海域における貝毒と原因プランクトンの発生状況について	令和元年度兵庫県食品衛生監視員研修会	宮原一隆	水産環境部
R 1. 8	兵庫県海域における貝毒の発生状況（昨年・今年）	令和元年度第1回貝毒安全対策連絡協議会	宮原一隆	水産環境部
R 1. 10	貝毒プランクトンの観察方法	貝毒プランクトン検鏡研修会	宮原一隆	水産環境部
R 1. 11	二枚貝における麻痺性貝毒の減毒・除毒に関するレビューと今後の方向性	瀬戸内海区水産研究所主催貝毒担当者ミーティング	宮原一隆	水産環境部
R 1. 12	兵庫県における赤潮・貝毒の発生状況	令和元年度漁場環境保全関係研究開発推進会議赤潮貝毒部会	宮原一隆	水産環境部
R 2. 1	令和1年度ノリ漁期における <i>Eucampia zodiacus</i> の発生予測とその他の情報	養殖ノリの色落ち中期予測等情報交換会	宮原一隆	水産環境部
H31. 4	兵庫県内海における 2018 年および 2019 年の漁況	第 50 回瀬戸内海東部カタクチイワシ等漁況予報会議	西川哲也	水産環境部
R 1. 11	イカナゴを指標種とした瀬戸内海の貧栄養化と再生に関する研究	令和元年度瀬戸内海ブロック水産業関係研究開発推進会議生産環境部会・資源生産部会合同部会主催シンポジウム	西川哲也	水産環境部
R 1. 12	養殖海苔色落ち原因珪藻の栄養塩取り込み能に関する研究	令和元年度香川大学瀬戸内圏研究センター学術講演会	西川哲也	水産環境部
R 2. 1	植物プランクトンとイカナゴから見た瀬戸内海の変遷と現状	令和元年度香川大学瀬戸内圏研究センター学術講演会	西川哲也	水産環境部
R 2. 3	今漁期のイカナゴしんこ漁の網揚げについて	令和2年西播船曳網漁業同業会委員会	西川哲也ら	水産環境部
H31. 4	兵庫県内海における 2018 年および 2019 年の漁況	第 50 回瀬戸内海東部カタクチイワシ等漁況予報会議	魚住香織	水産環境部
R 1. 6	2019 年漁期のイカナゴ漁獲状況について	令和元年度豊かな瀬戸内海再生調査事業勉強会	魚住香織	水産環境部
R 1. 8	2019 年漁期兵庫県イカナゴ漁について	イカナゴ瀬戸内海東部系群に係る令和1年度第1回情報交換会	魚住香織	水産環境部
R 1. 8	兵庫県におけるイカナゴ加入特性と産卵ポテンシャルの現状	イカナゴおよびカタクチイワシ等の資源・生態・行動に関する情報交換会	魚住香織	水産環境部

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 1. 12	イカナゴの減少要因 ～親魚卵数の変化から～	令和元年度兵庫県豊かな瀬戸内海再生調査事業検討会	魚住香織	水産環境部
R 2. 1	今漁期のイカナゴ親魚調査結果について	令和2年古セ操業関係組合代表者会	魚住香織ら	水産環境部
R 2. 2	今漁期のイカナゴ親魚・稚仔調査結果および漁況予報について	令和2年播磨灘船曳網漁業連合会正副会長・行使委員・地区代表者会議	魚住香織ら	水産環境部
R 2. 2	今漁期のイカナゴ親魚・稚仔調査結果および漁況予報について	令和2年漁期第1回大阪湾3地区船曳役員合同会議	魚住香織	水産環境部
R 2. 2	今漁期のイカナゴ親魚・稚仔調査結果および漁況予報について	令和2年漁期西播船曳網漁業同業会通常総会	魚住香織ら	水産環境部
R 2. 2	今漁期のイカナゴ親魚・稚仔調査結果および漁況予報について	令和2年漁期第1回大阪湾3地区船曳役員合同会議	魚住香織ら	水産環境部
R 2. 2	今漁期のイカナゴ親魚・稚仔調査結果および漁況予報について	令和2年漁期いかなご船びき網漁業の操業に関する打ち合わせ会議	魚住香織ら	水産環境部
R 2. 2	今漁期のイカナゴ試験操業結果について	令和2年漁期第2回大阪湾3地区船曳役員合同会議	魚住香織ら	水産環境部
R 2. 2	今漁期のイカナゴ試験操業結果について	令和2年播磨灘船曳網漁業連合会正副会長・行使委員・地区代表者会議	魚住香織ら	水産環境部
R 2. 3	今漁期のイカナゴしんこ漁の網揚げについて	令和2年播磨灘船曳網漁業連合会正副会長・行使委員会議	魚住香織ら	水産環境部
R 2. 3	今漁期のイカナゴしんこ漁の網揚げについて	令和2年漁期第3回大阪湾3地区船曳役員合同会議	魚住香織ら	水産環境部
R 2. 3	今漁期のイカナゴしんこ漁の網揚げについて	令和2年播磨灘船曳網漁業連合会正副会長・行使委員会議	魚住香織ら	水産環境部
R 2. 3	今漁期のイカナゴしんこ漁の網揚げについて	令和2年播磨灘船曳網漁業連合会正副会長・行使委員・地区代表者会議	魚住香織ら	水産環境部
R 1. 7	豊かな海について	仮屋漁業協同組合青壮年部水産教室	高倉良太	水産環境部
R 2. 1	2019年の播磨灘の漁場環境	養殖ノリ色落ち中期予測等情報交換会	高倉良太	水産環境部
R 1. 9	マコガレイの中間育成で発生したウイルス性出血性敗血症（VHS）	令和元年度瀬戸内海・四国ブロック魚病検討会	中村行延	水産増殖部
R 1. 10	マコガレイの中間育成で発生したウイルス性出血性敗血症（VHS） リアルタイム PCR 装置を使用した LAMP 法と非特異反応の一例	令和元年度西部西日本海ブロック魚類防疫対策協議会	中村行延	水産増殖部
R 1. 5	フリー配偶体の遺伝的な特徴と培養方法について	南あわじ漁協ワカメ種苗生産技術研修会	岡本繁好	水産増殖部
R 1. 8	「ノリ養殖」をとりまく問題点～全国の事例とその対策	のり養殖技術研修会	谷田圭亮	水産増殖部
R 1. 11	全国の「ノリ養殖」における現状と問題点ー令和元年度ノリ漁期に向けて	神戸市のり協議会 令和元年度海苔養殖漁期前研修会	谷田圭亮	水産増殖部
R 1. 2	令和元(2019)年漁期 これまでの経過	養殖ノリの色落ち中期予測等情報交換会	谷田圭亮	水産増殖部

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 1. 11	水産養殖における閉鎖循環飼育の可能性	西部日本海ブロック増養殖担当者会議	増田恵一	水産増殖部
R 2. 1	水産養殖における閉鎖循環飼育の可能性	日本技術士会近畿本部環境研究会・第93回特別講演会	増田恵一	水産増殖部
R 1. 6	魚病に関する情報交換	令和元年度全国養鰯技術協議会魚病対策研究部会	安信秀樹	内水面
R 1. 10	兵庫県内水面養殖における魚病診断件数の推移	第33回近畿中国四国ブロック内水面魚類防疫検討会	安信秀樹	内水面
R 2. 2	令和年度のニジマス魚病発生状況・水産用医薬品の適正使用について	令和元年度ニジマス魚病防疫講習会	安信秀樹	内水面
R 1. 6	ベニズワイガニの生態と資源	香美町内ジオガイドスキルアップ講習会	大谷徹也	但馬水技
R 1. 7	調査船「たじま」による駆け廻し漁具動態の計測とシミュレーション ～駆け廻し漁具の省力化・最適化を目指して～	令和元年度但馬地区漁青連グループリーダー夏期研修会	大谷徹也ら	但馬水技ほか
R 1. 7	ズワイガニ漁況と調査結果の概要	令和元年度ズワイガニ研究協議会	大谷徹也	但馬水技
R 1. 7	日本海の底びき網漁業と主要底魚資源	大輪田塾	大谷徹也	但馬水技
R 1. 7	令和元年度ベニズワイ資源調査結果と資源管理の方向性	令和元年度兵庫県ベニガニ協会通常総会	大谷徹也	但馬水技
R 1. 8	令和元年度底びき漁期前調査結果	令和元年度底びき漁期前調査結果説明会	大谷徹也	但馬水技
R 1. 10	平成30年漁期のアカガレイ漁況と資源調査結果の概要・平成30年漁期のズワイガニ漁況と調査結果の概要	第9回あかがれい・ずわいがに広域資源管理検討協議会	大谷徹也	但馬水技
R 1. 10	日本海西部における兵庫県海域のソデイカ来遊水準	令和元年度イカ類資源評価協議会	鈴木雅巳	但馬水技
R 1. 11	兵庫県但馬沖における調査概要	第74回日本海海洋調査技術連絡総会	鈴木雅巳	但馬水技
R 2. 2	有害プランクトンの出現動態監視および予察技術開発 日本海西部海域	平成31年度漁場環境改善推進事業「赤潮被害防止対策技術の開発」結果検討会	鈴木雅巳ら	但馬水技ほか
R 1. 6	知っているようで知らないズワイガニのこと	香美町内ジオガイドスキルアップ講習会	田村一樹	但馬水技
R 1. 11	続・イワガキの天然採苗に関する取組み～3年間のとりまとめ～	令和元年度西部日本海ブロック増養殖担当者会議	田村一樹	但馬水技
R 2. 1	ズワイガニの標本船調査から得られた漁期別投棄尾数	令和元年度EEZ内資源・漁獲管理体制強化事業分析検討会	田村一樹	但馬水技
R 1. 7	インピーダンス法を利用した兵庫県但馬産魚類の脂肪含量調査	第67回日本海水産物利用担当者会議	川村芳浩	北部農業・加工流通部
R 2. 2	兵庫県水産物の流通技術（日本海産魚類の脂肪含量特性解明）	令和元年度食品試験研究推進会議	川村芳浩	北部農業・加工流通部

(5) ニュース・情報誌等

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 1. 7	今漁期の問題点と今後の対応（瀬戸内地区）	海苔タイムス 2318 号	谷田圭亮	水産増殖部
R 1. 10	来たる漁期の生産対策（瀬戸内地区）	海苔タイムス 2327 号	谷田圭亮	水産増殖部

(6) センターだより

名 称	号数	提 供 者 名	所 属
水産技術センターだより			
漁海況情報	12	長濱達章	水産環境部
漁場環境情報	12	高倉良太・宮原一隆	水産環境部
カタクチイワシ卵稚仔調査結果 （播磨灘）	7	西川哲也	水産環境部
カタクチイワシ卵稚仔調査結果 （大阪湾・紀伊水道）	3	魚住香織	水産環境部
イカナゴ親魚、稚仔分布調査結果	2	西川哲也・魚住香織	水産環境部
イカナゴシンコ漁況予報	1	西川哲也・魚住香織	水産環境部
水温観測情報	51	中桐 栄	水産環境部
貝毒情報	91	宮原一隆・中桐 栄	水産環境部
赤潮情報	16	宮原一隆・中桐 栄	水産環境部
ノリ養殖環境速報（播磨灘）	16	高倉良太・宮原一隆・のり研究所	水産環境部・のり研究所
ノリ養殖環境速報（大阪湾）	7	谷田圭亮・岡本繁好・中桐 栄・のり研究所	水産増殖部・水産環境部・のり研究所
カキ漁場環境情報	16	谷田圭亮・宮原一隆	水産増殖部・水産環境部
但馬水産技術センターだより			
海況情報	45	鈴木雅巳	但馬水技
漁況情報	28	鈴木雅巳・大谷徹也	但馬水技
貝毒情報	3	鈴木雅巳・笹江祥加	但馬水技・但馬水産事務所
漁況速報	52	鈴木雅巳	但馬水技
イカ漁況日報	147	鈴木雅巳	但馬水技

(7) 雑誌等

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 2. 3	瀬戸内海の水温上昇が生物に与える影響―兵庫 県におけるノリ養殖―	瀬戸内海 79, 19-21	谷田圭亮	水産増殖部

(8) 技術書籍等

なし。

(9) 新聞

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 1. 5	海の天気図 浜だより～底曳網漁業終了と沿岸 漁業盛漁期～	日本海新聞	鈴木雅巳	但馬水技
R 1. 11	海の天気図 浜だより～ズワイガニ漁の解禁～	日本海新聞	鈴木雅巳	但馬水技
R 2. 2	海の天気図 浜だより～2019年の漁期とりまと め（速報値）～	日本海新聞	鈴木雅巳	但馬水技

(10) テレビ・ラジオ

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 2. 3	減少するイカナゴ…兵庫県の意外な対策とは？	読売テレビ放送	反田 實	
R 1. 5	灰干しワカメの加工原理	NHK富山	森 俊郎	但馬水技

(11) インターネット・ホームページ

発表年月	内 容	提 供 先	提 供 者 名	所 属
R 1. 7	私の試験研究 地場種苗を活かしたマガキ養殖	兵庫県立農林水産技術総合センター	谷田圭亮	水産増殖部
R 1. 5	センター雑感 さかな屋さんのひとりごと 「よく似てるけど実は別もの（ウニ編）」	兵庫県立農林水産技術総合センター	森 俊郎	但馬水技
R 1. 12	私の試験研究 フロンティア調査で保護区域の効果を把握！	兵庫県立農林水産技術総合センター	田村一樹	但馬水技

3 見学会及び研究発表会

(1) 見学会

なし。

(2) 研究発表会

ア 日 時

令和元年7月19日14時～16時

イ 場 所

兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター

ウ 課 題

「したばらめ類」の資源調査を始めました！

(発表者：水産技術センター水産環境部研究員 長濱達章)

水産養殖における閉鎖循環飼育の可能性

(発表者：水産技術センター水産増殖部主席研究員 増田恵一)

神戸市漁協女性部が進める魚食普及

(発表者：神戸市漁協女性部部長 井上二三枝)

但馬の魚の脂肪含量～季節変化と簡易測定方法～

(発表者：北部農業技術センター主席研究員 川村芳浩)

4 特許・実用新案出願・登録状況

【国特許】

職務 発明	提出年月日 認定年月日	特許 登録	出願年月日 登録年月日	内 容	備 考
	H21. 4. 3 H21. 5. 18		H21. 6. 1 H24. 4. 4	養殖ノリ「ひょうごはりま薫黒」の品種登録出願	
	H22. 10. 22 H22. 10. 25		H23. 1. 31 H25. 7. 12	バラ干し海苔の製造方法	
	H27. 4. 13 H27. 5. 20		H27. 10. 15 R1. 7. 12	カキの採苗器	

発明（出願特許）の概要

発 明 の 名 称	発 明 の 概 要
養殖ノリ「ひょうごはりま薫黒」の品種登録出願	成熟は晩熟で、生長が速く、葉形は線形である。色調は色調低下時に黒い傾向がある。兵庫本来の「色・艶」を兼ね備えており、県産ノリの用途として主力である業務用ノリに適した特性を有している。
バラ干し海苔の製造方法	バラ干し海苔の色の見た目の色の改善を図り、長期間冷凍保存をしても品質や鮮度が劣化しないバラ干し海苔の製造方法を提供する。 バラ干し海苔の製造方法は、採集した原藻を熱湯に浸漬し湯引かせる湯引き工程、次に、脱水工程、その後、乾燥工程、から成る。これに加えて、原藻を湯引き後に凍結保存を行うことにより、原料として長期保存が可能となり、時期・量を問わずバラ干し海苔を供給できる。本バラ干し海苔の製造方法によれば、バラ干し海苔の保存性や風味を向上できる。
カキの採苗器	本県で開発したアサリの中間育成カゴのフタの裏側に著しく天然カキが付着することに着眼し、フタとメッシュの部分を取り出したもの。メッシュ状の開口部を有するプラスチック製の板とメッシュシートの組み合わせによって形成される空間において、侵入してきた浮遊幼生が主にプラスチック製の板に付着する現象が確認できた。この板はポリエチレン製で、目合い1cmのメッシュとなっており、容易に変形することができるため、付着したカキ種苗を剥離することが容易で、シングルシードカキとしての種苗化が可能である。また、プラスチック製の板とメッシュシートで形成された幅の狭い場所で付着することで、甲殻類や魚類による食害も防止できる利点がある。

5 学位・表彰等

◎表 彰 名 全国食品関係試験研究場所長会 優良研究・指導業績表彰
業 績 名 兵庫県産水産物の流通技術開発（日本海産魚類の脂肪含量特性解明）
取得者氏名 川村芳浩
年 月 日 令和2年2月13日

6 研究員の派遣

なし。

7 研修生・見学者の受け入れ

(1) 一般研修生の受け入れ

団体又は組織	人 数	研 修 課 題	期 間	受け入れ部門
姫路市漁協、坊勢漁協、室津漁協、赤穂市漁協、兵庫県漁連（漁業者・養殖業者等）	計21名	貝毒プランクトン検鏡研修会	R 1. 10. 24	水産環境部
角谷製菓	1名	ホッコクアカエビの加工	R 1. 4. 9	但馬水技セ
神戸市漁協職員、漁業者	計7名	ローカルサーモンの加工	R 1. 4. 9	但馬水技セ
洲本農林水産振興事務所 若男水産	4名 11名	トラフグ卵巣の加工現地研修	R 1. 5. 16	但馬水技セ
兵庫県漁連、大輪田塾塾生、水産系統団体職員	計13名	大輪田塾 ～試験研究の現場から見た水産加工の基礎～	R 1. 7. 2	但馬水技セ
東亜交易、西日本ニチモウ	計5名	ナルトビエイの皮剥ぎ	R 1. 8. 7	但馬水技セ

県立農林水産技術総合センター、龍野農業改良普及センター	各1名	令和元年度普及指導員研修 技術強化Ⅱ研修～試験研究の現場から見た水産加工の基礎～	R 1. 9. 6	但馬水技セ
洲本農林水産振興事務所、南あわじ漁協、兵庫県漁連	計20～25名	大嘗祭献上鯛の加工～鮮度保持、上千品の加工～	R1. 10. 30～31	但馬水技セ
洲本農林水産振興事務所、南あわじ漁協、兵庫県漁連	計20～25名	大嘗祭献上鯛の加工～上千品の加工、保蔵技術～	R 1. 11. 1	但馬水技セ
洲本農林水産振興事務所、南あわじ漁協、兵庫県漁連	計25名	大嘗祭献上鯛の加工～品質評価～	R 1. 11. 11	但馬水技セ
洲本農林水産振興事務所	1名	大嘗祭献上鯛の加工～標本の作製～	R 1. 11. 17	但馬水技セ
吉備国際大学学生	10名	水産物加工学～試験研究の現場から見た水産加工の基礎～	R1. 12. 25～27	但馬水技セ

(2) トライやるウィーク体験事業

学 校 名	研 修 課 題	期 間	受け入れ部門
野々池中学校、望海中学校 大久保北中学校、魚住中学校 各1名 計4名	展示施設設営、施設見学者案内補助、水質調査実習、プランクトン検鏡、イカナゴ耳石観察、ノリ糸状体・ワカメ配偶体観察、捕獲生物観察記録発表 ほか	R1. 6. 3～6. 6	水産環境部、水産増殖部
朝来中学校4名（5日間）＋青垣中学校2名（1日間）	飼育水槽・人工河川掃除、飼育魚への給餌、アマゴの解剖、調理実習、版画作成、施設写真撮影	R1. 6. 3～6. 7	内水面漁業センター
香住第一中学校3名（3日間）	一夜干しするめ加工試験、茹でほたるいか加工試験、動物プランクトン採取・観察	R1. 6. 3～6. 5	但馬水技、北部農業・加工流通部
浜坂中学校4名 （浜坂漁協との共同）	マアジ開き干し加工作業	R1. 5. 28	但馬水技、北部農業・加工流通部

(3) 受託研修・国際交流課からの依頼による研修の受け入れ

なし。

(4) 見学者の受け入れ

【水産技術センター】

年.月	件数	人数 (合計)	人数 (内訳)			
			漁業 関係	学校 関係	行政 関係	一般 県民
H31. 4	9	45	0	24	0	21
R 1. 5	11	386	1	371	1	13
6	13	634	0	623	0	11
7	16	904	0	788	0	116
8	8	116	0	25	1	91
9	0	0	0	0	0	0
10	1	50	0	0	0	50
11	1	18	0	0	0	18
12	0	0	0	0	0	0
R 2. 1	0	0	0	0	0	0
2	2	14	0	0	0	14
3	0	0	0	0	0	0
合計	63	2167	1	1831	1	334

【内水面漁業センター】

年.月	件数	人数 (合計)	人数 (内訳)			
			漁業 関係	学校 関係	行政 関係	一般 県民
H31. 4	42	75	22	1	9	43
R 1. 5	27	46	2	5	3	36
6	55	176	4	124	9	39
7	28	151	3	96	9	43
8	26	58	1	1	1	55
9	16	42	4	0	0	38
10	28	85	1	36	4	44
11	35	58	23	0	8	27
12	21	48	2	0	2	44
R 2. 1	17	28	1	1	4	22
2	25	30	1	1	2	26
3	46	90	1	0	5	84
合計	366	887	65	265	56	501

※ 施設修繕工事のため9月から一般見学を休止

【但馬水産技術センター】

年 月	件数	人数 (合 計)	人数 (内訳)			
			漁業 関係	学校 関係	行政 関係	一般 県民
H31. 4	1	4	0	0	0	4
R 1. 5	1	42	0	42	0	0
6	1	5	0	0	5	0
7	0	0	0	0	0	0
8	1	20	0	0	20	0
9	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0
R 2. 5	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0
合計	4	71	0	42	25	4

※ 施設修繕工事のため6月から一般見学を休止

【但馬水産技術センター】

(北部農業技術センター農業・加工流通部 担当分)

年 月	件数	人数 (合 計)	人数 (内訳)			
			漁業 関係	学校 関係	行政 関係	一般 県民
H31. 4	8	14	14	0	0	0
R 1. 5	6	10	5	5	0	0
6	4	4	1	3	0	0
7	10	10	6	0	2	2
8	11	11	10	0	1	0
9	9	10	6	0	2	2
10	4	4	4	0	0	0
11	6	6	5	0	1	0
12	9	9	4	0	0	5
R 2. 1	8	10	4	0	0	6
2	14	14	12	0	0	2
3	11	11	11	0	0	0
合計	100	113	82	8	6	17

(加工相談のうち来訪分)

8 資格・認定研修への講師派遣

(1) 水産加工食品製造業技能評価試験への試験官派遣

主催者：全国水産加工業協同組合連合会

試験官・(部署)：森 俊郎 (但馬水産技術センター)

参集範囲：但馬管内の水産加工業者

研修名 参集範囲・人員	主催者 研修内容	講師・(部署)	時期
水産加工食品製造業技能評価試験 但馬管内の水産加工業者・13名	全国水産加工業協同組合連合会 水産加工食品製造業技能評価試験(専門級)	森 俊郎 (但馬水産技術センター) 調味加工品4名 乾製品9名の試験官	2019. 6. 19
水産加工食品製造業技能評価試験 但馬管内の水産加工業者・5名	全国水産加工業協同組合連合会 水産加工食品製造業技能評価試験(初級)	森 俊郎 (但馬水産技術センター) 調味加工品2名 干製品3名の試験官	2019. 6. 20
水産加工食品製造業技能評価試験 但馬管内の水産加工業者・9名	全国水産加工業協同組合連合会 水産加工食品製造業技能評価試験(初級)	森 俊郎 (但馬水産技術センター) 乾製品9名の試験官	2019. 7. 18
水産加工食品製造業技能評価試験 姫路管内の水産加工業者・13名	全国水産加工業協同組合連合会 水産加工食品製造業技能評価試験(初級)	森 俊郎 (但馬水産技術センター) 調味加工品3名 乾製品10名の試験官	2019. 8. 20
水産加工食品製造業技能評価試験 但馬管内の水産加工業者・4名	全国水産加工業協同組合連合会 水産加工食品製造業技能評価試験(初級)	森 俊郎 (但馬水産技術センター) 乾製品4名の試験官	2019. 9. 4

水産加工食品製造業技能評価試験 但馬管内の水産加工業者・9名	全国水産加工業協同組合連合会 水産加工食品製造業技能評価試験（専門級）	森 俊郎（但馬水産技術センター） 乾製品9名の試験官	2020. 2. 5
水産加工食品製造業技能評価試験 但馬管内の水産加工業者・3名	全国水産加工業協同組合連合会 水産加工食品製造業技能評価試験（初級）	森 俊郎（但馬水産技術センター） 調味加工品3名の試験官	2020. 2. 6
水産加工食品製造業技能評価試験 但馬管内の水産加工業者・4名	全国水産加工業協同組合連合会 水産加工食品製造業技能評価試験（初級）	森 俊郎（但馬水産技術センター） 調味加工品4名の試験官	2020. 3. 18
水産加工食品製造業技能評価試験 但馬管内の水産加工業者・3名	全国水産加工業協同組合連合会 水産加工食品製造業技能評価試験（専門級）	森 俊郎（但馬水産技術センター） 調味加工品3名の試験官	2020. 3. 18

(2) 令和元年度食品衛生監視員研修会特別講演への講師派遣

研修名 参集範囲・人員	主催者 研修内容	講師・(部署)	時期
兵庫県食品衛生監視員研修会 県・市の食品衛生監視員・54名	健康福祉部健康局生活衛生課 兵庫県海域における貝毒と 原因プランクトンの発生状況	宮原一隆(水産技術センター)	2019. 6. 14

9 その他（出版物等）

- ・平成30年度 兵庫県農林水産技術総合センター年報（水産編）
- ・豊かな瀬戸内海の再生を目指して～豊かな瀬戸内海再生調査事業の成果～（リーフレット）

